

教育フォアフロントプロジェクト事業「考え、議論する道徳教育推進研修講座(リーダー養成)[2期]」開催！！

平成29年11月21日(火)に、「教育フォアフロントプロジェクト事業」(公益財団法人山口県ひとづくり財団共催)として、「考え、議論する道徳教育推進研修講座(リーダー養成)[2期]」を開催しました。6月に実施した1期に引き続き、京都産業大学の柴原弘志教授を講師としてお迎えし、道徳教育の充実に向けて、研究協議や模擬授業、講義を通じて理解を深めていきました。

まず、1期と2期の間に各校において実施した授業実践や道徳教育の全体計画の改善等について協議しました。次に、小・中学校の代表者による模擬授業を実施し、授業内容に関する研究協議を行いました。実際に授業を見た上での協議は、授業づくりのポイントをつかむことができ、高校の先生からも「授業の組み立て方の工夫や思考を深める発問等、どれも新鮮で参考にしようと思う」という感想があり、大変好評でした。

最後に、本研修講座のまとめとして、「道徳教育の充実を図るために一 道徳教育を推進するリーダーとしてー」と題して、柴原先生に御講義いただきました。講義の中では、児童生徒が本音で「語る」授業をいかにして構成していくかについて、模擬授業の教材である「最後のおくり物」「二人の弟子」に加え、「手品師」等の展開例を示しながら説明がありました。また、学校全体で道徳教育の充実を図るための具体的手法として、全体計画を職員室に掲示し、実施状況や見直すべき点の記入を行う等の事例の紹介もあり、リーダーとして手立てを講じることの必要性も伝えられました。1期と同様、エネルギーでユーモアあふれる語り口により、あっという間に時間が過ぎ、多くの受講者から「もっと、柴原先生のお話が聞きたい」との声も聞かれました。「先生の力強い講義は、授業への意欲につながっている。もっと勉強しなければと決意した」という感想もあり、道徳教育の充実に向けて見識を深めるとともに意欲の向上へもつながる充実した研修講座となりました。



模擬授業・研究協議・指導助言により、多くの授業づくりの視点を学びました。



講義では、道徳科の評価や問題解決的な学習の展開についても説明していただきました。